

天草市介護サービス事業所等実態調査

◆ 調査へのご協力のお願い ◆

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から天草市高齢者保健福祉事業・介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この調査は天草市の介護保険被保険者に対する介護保険サービスを提供されている事業所の皆様の状況をお尋ねし、今後の施策に反映するための基礎資料とさせていただくため実施するものです。

調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご回答いただきますようご協力をお願いします。

令和7年12月 天草市 高齢者支援課

記入上のご注意

1. 本調査は貴事業所の管理者、もしくは代表の方がお答えください。
2. 本調査は、令和7年12月1日現在の状況でお答えください。
3. 本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

天草市 健康福祉部高齢者支援課
電話：0969-24-8806 ・ FAX：0969-27-0155

※12月17日（水）までにご回答ください。

次へ

ご回答いただく方についてお答えください。

事業所番号 ※必須	
事業所名 ※必須	
回答者氏名 ※必須	
電話番号 ※必須	

戻る

次へ

貴事業所(種別ごと)の概要についてお答えください。

問1 貴事業所で提供しているサービス(予防給付含む)は何ですか。
(あてはまるものすべて)

※必須

- ☐ 訪問介護
- ☐ 訪問入浴介護
- ☐ 訪問看護
- ☐ 訪問リハビリテーション
- ☐ 居宅療養管理指導
- ☐ 通所介護 ※地域密着型を含む
- ☐ 通所リハビリテーション
- ☐ 短期入所生活介護
- ☐ 短期入所療養介護
- ☐ 特定施設入居者生活介護(養護老人ホーム)
- ☐ 福祉用具貸与・特定福祉用具販売
- ☐ 住宅改修
- ☐ 介護老人福祉施設※地域密着型を含む
- ☐ 介護老人保健施設
- ☐ 介護医療院
- ☐ 小規模多機能型居宅介護
- ☐ 居宅介護支援事業所
- ☐ 認知症対応型通所介護
- ☐ 認知症対応型共同生活介護
- ☐ 地域包括支援センター
- ☐ その他

戻る

次へ

貴事業所(種別ごと)の概要についてお答えください。

問2-1 貴事業所で提供しているサービスの介護職員について、正規職員の年齢別の人数を教えてください。※半角数値を入力してください。また、該当者がいない場合は0(ゼロ)を入力してください。

【正規職員】20歳未満 ※必須

 人

【正規職員】20～29歳
※必須

 人

【正規職員】30～39歳
※必須

 人

【正規職員】40～49歳
※必須

 人

【正規職員】50～59歳
※必須

 人

【正規職員】60～69歳
※必須

 人

【正規職員】70～79歳
※必須

 人

【正規職員】80歳以上
※必須

 人

【正規職員】総数
※必須

 人

戻る

次へ

貴事業所(種別ごと)の概要についてお答えください。

問2-1 貴事業所で提供しているサービスの介護職員について、正規職員の年齢別の人数を教えてください。※半角数値を入力してください。また、該当者がいない場合は0(ゼロ)を入力してください。

【正規職員】20歳未満 ※必須

人

【正規職員】20～29歳
※必須

人

【正規職員】30～39歳
※必須

人

【正規職員】40～49歳
※必須

人

【正規職員】50～59歳
※必須

人

【正規職員】60～69歳
※必須

人

【正規職員】70～79歳
※必須

人

【正規職員】80歳以上
※必須

人

【正規職員】総数
※必須

人

戻る

次へ

貴事業所(種別ごと)の概要についてお答えください。

問2-2 貴事業所で提供しているサービスの介護職員について、非正規職員の年齢別の人数を教えてください。※半角数値を入力してください。また、該当者がいない場合は0(ゼロ)を入力してください。

【非正規職員】20歳未満 ※必須

 人

【非正規職員】20～29歳
※必須

 人

【非正規職員】30～39歳
※必須

 人

【非正規職員】40～49歳
※必須

 人

【非正規職員】50～59歳
※必須

 人

【非正規職員】60～69歳
※必須

 人

【非正規職員】70～79歳
※必須

 人

【非正規職員】80歳以上
※必須

 人

【非正規職員】総数
※必須

 人

戻る

次へ

貴事業所(種別ごと)の概要についてお答えください。

問3-1 R6.4.1～R7.3.31の介護職員の採用者数を教えてください。※該当者がいない場合は0(ゼロ)を入力してください。※半角数値を入力してください。また、該当者がいない場合は0(ゼロ)を入力してください。

【採用者数】

20歳未満 ※必須

 人

【採用者数】

20～29歳 ※必須

 人

【採用者数】

30～39歳 ※必須

 人

【採用者数】

40～49歳 ※必須

 人

【採用者数】

50～59歳 ※必須

 人

【採用者数】

60～69歳 ※必須

 人

【採用者数】

70～79歳 ※必須

 人

【採用者数】

80歳以上 ※必須

 人

【採用者数】

総数 ※必須

 人

戻る

次へ

貴事業所(種別ごと)の概要についてお答えください。

問3-2 R6.4.1～R7.3.31の介護職員の離職者数を教えてください。※半角数値を入力してください。また、該当者がいない場合は0(ゼロ)を入力してください。

【離職者数】

20歳未満 ※必須

 人

【離職者数】

20～29歳 ※必須

 人

【離職者数】

30～39歳 ※必須

 人

【離職者数】

40～49歳 ※必須

 人

【離職者数】

50～59歳 ※必須

 人

【離職者数】

60～69歳 ※必須

 人

【離職者数】

70～79歳 ※必須

 人

【離職者数】

80歳以上 ※必須

 人

【離職者数】

総数 ※必須

 人

戻る

次へ

事業所運営についてお答えください。

問4 貴事業所における職員の定着について、おおむねどのような状況ですか。 ※必須

- ☐ 定着し安定している
- ☐ たまに離職者がいるが、ほぼ安定している
- ☐ 離職者が多く、不安定である
- ☐ その他

問5 貴事業所の運営に関して現在、困難を感じることは何ですか。(あてはまるもの3つまで) ※必須

- ☐ 人材の確保が難しい
- ☐ 人材育成が難しい
- ☐ 事務作業が増加している
- ☐ 経営経費・活動資金が不足している
- ☐ 施設・設備の改善が難しい
- ☐ 介護報酬が実態にそぐわない
- ☐ 利用者の継続的な確保が難しい
- ☐ 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない
- ☐ 行政機関等との連携を取ることが難しい
- ☐ その他
- ☐ 特になし

問6 貴事業所において、直近1年以内に職員の求人に利用した(している)ものは何ですか。(あてはまるものいくつかでも) ※必須

- ☐ ハローワーク
- ☐ 民間の求人サイト(マイナビ、ジョブメドレー等)
- ☐ 貴事業所法人のホームページ
- ☐ 熊本県福祉人材・研修センター
- ☐ 求人誌、求人広告等(新聞折り込み等)
- ☐ 就職イベントへの出展
- ☐ その他
- ☐ 特になし

問7 貴事業所における職種別介護人材の確保状況は次のうちどれにあてはまりますか。(それぞれの職種で1つずつ) ※資格保有者ではなく、その仕事に就く者として選んでください。

(1)介護職員(ヘルパー含む) ※必須	☐ 確保できている ☐ 概ね確保できている ☐ あまり確保できていない ☐ 確保できていない ☐ 当該職種の職員は居ない
(2)看護職員 ※必須	☐ 確保できている ☐ 概ね確保できている ☐ あまり確保できていない ☐ 確保できていない ☐ 当該職種の職員は居ない
(3)生活相談員 ※必須	☐ 確保できている ☐ 概ね確保できている ☐ あまり確保できていない ☐ 確保できていない ☐ 当該職種の職員は居ない
(4)介護支援専門員 ※必須	☐ 確保できている ☐ 概ね確保できている ☐ あまり確保できていない ☐ 確保できていない ☐ 当該職種の職員は居ない
(5)PT・OT・ST等 ※必須	☐ 確保できている ☐ 概ね確保できている ☐ あまり確保できていない ☐ 確保できていない ☐ 当該職種の職員は居ない
(6)その他 ※必須	☐ 確保できている ☐ 概ね確保できている ☒ あまり確保できていない

- ☐ 確保できていない
- ☐ 当該職種の職員は居ない

問7(6)の「その他」の職種名を教えてください。

問7-1 問7において「あまり確保できていない」「確保できていない」を選んだ事業所にお尋ねします。その理由は次のうちどれにあてはまりますか。(あてはまるものいくつかでも)
※必須

- ☐ 採用が困難である
- ☐ 離職率が高い(定着率が低い)
- ☐ 事業拡大によって必要人数が増大した
- ☐ その他

問7-2 問7-1において「採用が困難である」を選んだ事業所にお尋ねします。その原因は何にあるとお考えですか。(あてはまるものいくつかでも) ※必須

- ☐ 他産業に比べて、労働条件等が良くない
- ☐ 介護業界に人材が集まらない
- ☐ 同業他社との人材獲得競争が激しい
- ☐ その他

☐ 分からない

問8 人材確保について貴事業所で抱える課題は何ですか。(あてはまるものいくつかでも)
※必須

- ☐ 募集しても応募がない
- ☐ 応募はあるが、採用できる人がいない
- ☐ 資格者など、希望する人材が確保できない
- ☐ 募集・採用にかかる経費が高い
- ☐ 利用者数が安定しないなど、時間によって必要な人員が変動する
- ☐ その他
- ☐ 特に課題はない

問9 貴事業所では、介護職員の採用に際し、どのような工夫を行っていますか。(あてはまるものいくつかでも) ※必須

- ☐ ハローワーク等を頻繁に訪れている
- ☐ 求人に際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している
- ☐ 職員や知人と連絡を密にとり、人材についての情報の提供を受けている
- ☐ 採用について、従来より多くコストをかけている
- ☐ 事業所の理念やアピールポイントを、HP等を介して対外的に発信している

- ☐ 介護資格や介護経験の有無にこだわらないようにしている
- ☐ 新規学卒者や若手にこだわらないようにしている
- ☐ 近隣の事業所と連携し、採用に関し情報交換をしている
- ☐ 福祉系教育機関への働きかけを積極的に行っている
- ☐ 採用説明会や職場体験を実施している
- ☐ 子育て支援を行っている（保育費用支援等）
- ☐ その他
- ☐ 特に行っていない

問10 人材を定着させるために取り組んでいることは何ですか。（あてはまるものいくつか） ※必須

- ☐ 賃金・労働時間等の労働条件の改善
- ☐ 資格・能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇への反映
- ☐ キャリアに応じた給与体系の整備
- ☐ 従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨
- ☐ 休憩室や談話室の設置など職場環境の整備
- ☐ 非正規従業員から正規従業員への登用の機会設定
- ☐ 希望する労働時間の設定
- ☐ 介護ロボット、ICT等の導入
- ☐ 外国籍労働者の雇用
- ☐ その他
- ☐ 特になし

問11 貴事業所において、介護従事者職員（介護支援専門員含む）の質の向上に向けて特に取り組んでいることは何ですか。（あてはまるものいくつか） ※必須

- ☐ 制度に関する最新情報の提供及び共有
- ☐ 基本的な技術や実践的知識の研修
- ☐ 利用者の状態に応じた介護知識の研修
- ☐ 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術研修
- ☐ 情報、課題共有してチームワークづくり
- ☐ 自身の専門性を高めるための職場づくり（仕事に向きあう場作りや相談体制など）
- ☐ 他職とのチームワーク・リーダー育成
- ☐ 業務や環境を見直し働きやすい職場づくり
- ☐ 業務手順や各マニュアルの定期確認及び見直し
- ☐ 各研修への周知及び参加推奨

☐ その他

☐ 特になし

戻る

次へ

外国籍労働者の活用についてお答えください。

問12 外国籍労働者の活用について、どのように思われますか。(あてはまるものいくつか) ※必須

- ☐ 業務の見直しができる
- ☐ 職場に活気がでる（と思う）
- ☐ 利用者が喜んでいる（喜ぶと思う）
- ☐ 業務が軽減される
- ☐ 労働力の確保ができる
- ☐ 長期的な雇用につながりにくい
- ☐ 人件費以外に様々なコストがかかる
- ☐ コミュニケーションがとりにくい
- ☐ 利用者等との意思疎通において不安がある
- ☐ できる仕事に限りがある（介護記録、電話等）
- ☐ 事業所のルールが理解できるか不安
- ☐ 生活、習慣等の違いに戸惑いがある
- ☐ 職員の理解が得られにくい
- ☐ 利用者の理解が得られにくい

☐ その他

問13 貴事業所には、介護の仕事をしている外国籍労働者はいますか。 ※必須

- ☒ いる
- ☐ 現在はいないが予定している
- ☐ 予定はないが検討している
- ☐ 予定はなく検討もしていない

問13-1 問13において「いる」「現在はいないが予定している」を選んだ事業所にお尋ねします。現在の採用人数および採用予定人数を教えてください。 ※半角数値を入力してください。

(1)EPA(経済連携協定)による受け入れ

人

(2)在留資格「介護」

人

(3) 技能実習生		人
(4) 在留資格「特定技能1号」		人
(5) 在留資格「特定技能2号」		人
(6) 留学生		人
(7) その他上記以外		人

[戻る](#)[次へ](#)

介護分野における生産性向上の取り組みについてお答えください。

問14 今後も高齢化に伴い介護サービスの需要は高まる反面、少子化にともなう人材確保は課題であります。国が推奨している下記の対策等について現在の状況に該当するものを選んでください。

(1) 介護ロボット・センサーの活用について ※必須

- ☐ 活用している
☐ 検討中
☒ 活用なし

問14(1)で「活用なし」と回答された方は該当する項目の番号を選んでください。(あてはまるものいくつかも) ※必須

- ☐ 事務処理（導入の際）が煩雑
☐ 活用するうえで不安がある
☐ 職員の理解が得られにくい
☐ 利用者の理解が得られにくい
☐ 資金がない
☐ 人材がいらない
☐ 使い方（相談先）がわからない
☐ その他

(2) ICT等テクノロジーの導入について ※必須

- ☐ 活用している
☐ 検討中
☒ 活用なし

問14(2)で「活用なし」と回答された方は該当する項目の番号を選んでください。(あてはまるものいくつかも) ※必須

- ☐ 事務処理（導入の際）が煩雑
☐ 活用するうえで不安がある
☐ 職員の理解が得られにくい
☐ 利用者の理解が得られにくい
☐ 資金がない
☐ 人材がいらない
☐ 使い方（相談先）がわからない

☐ その他

(3)業務改善(生産性向上支援ツール等)について

※厚生労働省「より良い職場・サービスのために今日からできること【業務改善の手引き】参照 ※必須

☐ 活用している☐ 検討中☒ 活用なし

問14(3)で「活用なし」と回答された方は該当する項目の番号を選んでください。(あてはまるものいくつか) ※必須

☐ 事務処理(導入の際)が煩雑☐ 活用するうえで不安がある☐ 職員の理解が得られにくい☐ 利用者の理解が得られにくい☐ 資金がない☐ 人材がない☐ 使い方(相談先)がわからない☐ その他

(4)シニア世代の介護助手等の育成活用 ※必須

☐ 活用している☐ 検討中☒ 活用なし

問14(4)で「活用なし」と回答された方は該当する項目の番号を選んでください。(あてはまるものいくつか) ※必須

☐ 事務処理(導入の際)が煩雑☐ 活用するうえで不安がある☐ 職員の理解が得られにくい☐ 利用者の理解が得られにくい☐ 資金がない☐ 人材がない☐ 使い方(相談先)がわからない☐ その他

(5)介護ボランティア等の活用 ※必須

☐ 活用している☐ 検討中

☒ 活用なし

問14(5)で「活用なし」と回答された方は該当する項目の番号を選んでください。(あてはまるものいくつか) ※必須

☐ 事務処理（導入の際）が煩雑☐ 活用するうえで不安がある☐ 職員の理解が得られにくい☐ 利用者の理解が得られにくい☐ 資金がない☐ 人材がない☐ 使い方（相談先）がわからない☐ その他[戻る](#)[次へ](#)

関係機関との連携状況についてお答えください。

問15 医師や歯科医師、医療機関など、医療と連携を取っていますか。

※必須

☐ 常に取っている

☐ 必要時に取っている

☒ ほとんど取っていない

☐ 取っていない

問15-1 問15において「ほとんど取っていない」「取っていない」を選んだ事業所にお尋ねします。医療と連携を取っていない理由は何ですか。(あてはまるものいくつかでも)

※必須

☐ 日時などが合わない

☐ 医師や歯科医師の理解が得られない

☐ 医師や歯科医師に相談しづらい

☐ 連携の必要性を感じない

☐ その他

問16 次の関係機関等と連携を取っていますか。

※必須

	常に取っている	必要時に取っている	ほとんど取っていない	取っていない
(1) 地域包括支援センター	☐	☐	☐	☐
(2) 利用者・家族等	☐	☐	☐	☐
(3) 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー	☐	☐	☐	☐
(4) 居宅介護支援以外の介護保険サービス提供事業所	☐	☐	☐	☐
(5) 介護保険以外のサービス提供機関	☐	☐	☐	☐
(6) 天草市	☐	☐	☐	☐
(7) 熊本県	☐	☐	☐	☐

問17 地域包括支援センターに支援してほしいと思うことは何ですか。(あてはまるもの3つまで)

☐ 困難事例への支援の充実

☐ 研修・指導内容の充実

※必須

- ☐ 介護者支援の充実
- ☐ 相談機会の増加、緊密な情報交換
- ☐ 情報提供の充実
- ☐ 関係機関・地域資源の紹介
- ☐ 地域との交流機会の増加
- ☐ 民生委員児童委員との連携強化

☐ その他

戻る

次へ

高齢者施策全般についてお答えください。

問18 本市で事業を運営する際の課題は何ですか。(あてはまるもの3つまで) ※必須

- ☐ 利用者の確保が困難である
- ☐ 移動に時間とコストがかかる
- ☐ 同業者が多い
- ☐ 人材の確保が困難である
- ☐ 行政の支援が少ない
- ☐ 医療機関との連携が難しい
- ☐ その他
- ☐ 特になし

問19 本市で不足していると感じる介護保険サービス種別は何ですか。(あてはまるものいくつでも) ※必須

- ☐ 訪問介護
- ☐ 訪問入浴介護
- ☐ 訪問看護
- ☐ 訪問リハビリテーション
- ☐ 夜間対応型訪問介護
- ☐ 看護小規模多機能型居宅介護
- ☐ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- ☐ 居宅療養管理指導
- ☐ 通所介護
- ☐ 訪問介護と通所介護の複合サービス(月定額)
- ☐ 地域密着型通所介護
- ☐ 通所リハビリテーション
- ☐ 短期入所生活介護
- ☐ 短期入所療養介護
- ☐ 特定施設入居者生活介護
- ☐ 地域密着型特定施設入居者生活介護
- ☐ 福祉用具貸与・特定福祉用具販売
- ☐ 住宅改修
- ☐ 介護老人福祉施設
- ☐ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- ☐ 介護老人保健施設

- ☐ 介護医療院
- ☐ 小規模多機能型居宅介護
- ☐ 認知症対応型通所介護
- ☐ 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）
- ☐ 居宅介護支援
- ☐ 介護予防支援
- ☐ 訪問介護(月定額)
- ☐ 通所介護(月定額)
- ☐ 訪問介護と通所介護の複合サービス(月定額)
- ☐ 特になし

問20 サービスの提供を行ううえで、行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。（あてはまるものいくつかでも） ※必須

- ☐ 介護保険制度に関する最新情報の提供
- ☐ 市の高齢者福祉事業に関する情報の提供
- ☐ サービス提供事業所に関する情報の提供
- ☐ 事業所間の連携強化の支援
- ☐ ケアマネジャーやサービス事業所の技術向上の支援（研修の実施等）
- ☐ ケアマネジャーやサービス事業所のための相談機能の充実
- ☐ 処遇困難者への対応またはその支援
- ☐ 医療との連携
- ☐ 市の高齢者福祉事業以外での他課との連携や調整
- ☐ その他
- ☐ 特になし

戻る

確認